

学習指導案

浜町公園前行政書士事務所

藤井 祐剛

E-Mail: fujii@law-stationer.com

● 本時の学習指導計画

(1) 本時のねらい

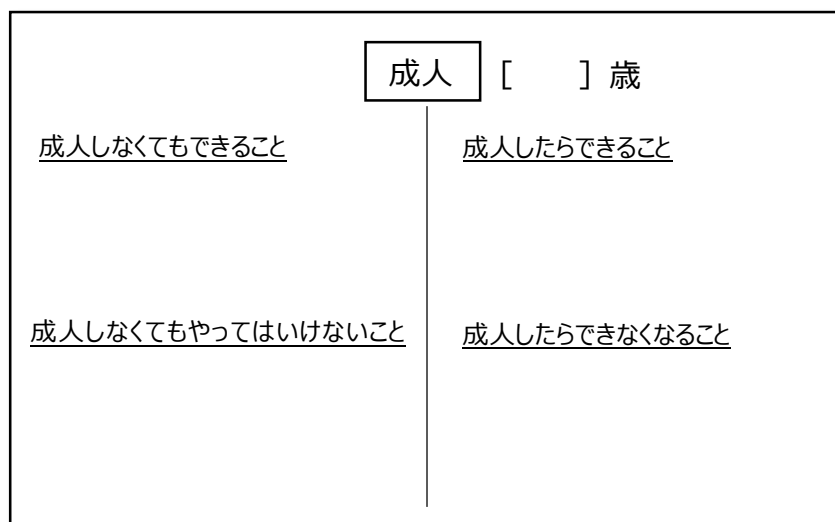
- ・グループワークを通じて、成人（“社会に出る”）と何が変わるのかを体験し、その意味を理解する。
- ・いつから成人なのか？ 成人の意味を知り、自分自身の明日からの意識と行動の変革につなげる。

(2) 準備・注意事項

① “社会に出る”を体験する — 成人連想ゲーム

授業内で行うワークショップ（前半）で使用する「ワークシート①」（1枚/A3以上のサイズ）と「行動カード」（20枚程度）を準備してください。

【ワークシート①のイメージ】



【行動カードのイメージ】

- i) 「成人しなくてもできること」カード：[例] 恋愛、勉強、親孝行、人の意見に反対する
 - ii) 「成人しなくてもやってはいけないこと」カード：[例] 犯罪、ウソをつく、カンニング、悪口を言う、いじめ
 - iii) 「成人したらできること」カード：[例] タバコ、酒、競馬
 - ii) 「成人したらできなくなること」カード：[例] 夏休み、部活動、少年法の適用
- ※その他、選挙権、運転免許、結婚、パチンコなど、現状 18 歳でできるようになる微妙なカードも入れておく。

②「わたしたちのオトナになる宣言」ワークシート

ワークショップ（後半）で使用する「ワークシート②」(1枚/A3以上のサイズ)を準備してください。

【ワークシート②のイメージ】

<p>私たちにとって、 成人とは_____です。 その理由は_____です。 あと_____年後に成人して社会に出る日のために、 明日から_____します。</p> <p style="text-align: center;">[チームメンバー]</p>

③備品

ワークショップに使用する備品として、セロテープ、太めのマーカーをグループ数分、準備してください。

(3) 本時の展開

	学習活動	注意事項
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の目的の共有 ・グループワークの進め方の説明 	
展開 (40分)	<p>[前半] “社会に出る”を体験する — 成人連想ゲーム 5～6名のグループごとに、相談しながら、行動カードをワークシート①に並べ、セロテープで貼る。カードの下にそこに貼った理由を書く(20分) ↓ 次に、自分たちで完成させたワークシートを見ながら、成人年齢は何歳が良いと思うかを「[]歳」欄に記入する。(5分)</p> <p>[後半] わたしたちのオトナになる宣言 前半のワークをもとに、グループで話し合っ、ワークシート②を完成させる。(10分) ↓ 各グループのメンバー全員が声を揃えてワークシート②に書いたものを読む。(5分)</p>	<p>日本の現実でどうなっているか？という知識を問うのではなく「どう考えるか？それはなぜか？」と生徒たちに考えてもらうようにファシリテートしてください。</p> <p>ポイントは、生徒たちに「それはなぜか？」という理由を考えてもらうことです。</p> <p>後半のワークでは、授業のアウトプットを形に残すとともに、具体的な行動まで落とし込んで考えてもらうことで、生徒たちに自分ごととして受け入れてもらいます。(前半の成人の定義だけ記入・発表することも可能です) 発表は、1グループ 30秒×6グループ程度を想定しています。</p>
まとめ (5分)	<p>本時の目的を再確認し、生徒たちの発表へのフィードバックや所感を伝える。</p>	<p>本時の目的は、生徒たちに考えてもらうことですので、まとめは簡潔で問題ありません。</p>